

一般国道4号 青森県天間林村中野

対策時期 : H15.7

事務所名 : 青森河川国道事務所

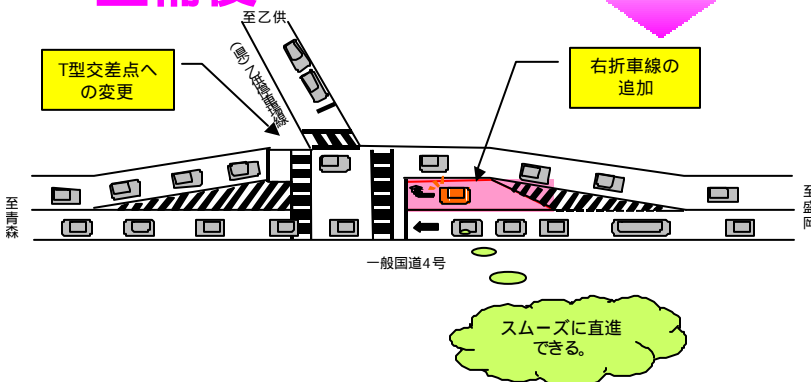
朝夕のラッシュ時に渋滞が発生

右折レーンがないため、右折車両による渋滞が発生。

整備前



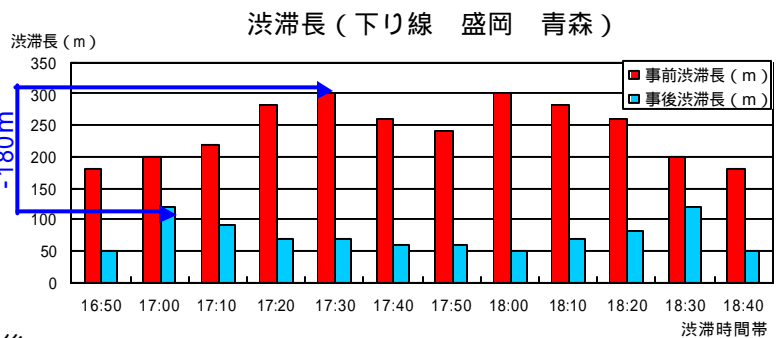
整備後



- ・ 右折レーンの設置、Y字をT字交差点に改良。

渋滞が大幅に緩和

- ・ (整備前) 渋滞長 : 300m
- ・ (整備後) 渋滞長 : 120m



渋滞長調査 : H12.10(整備前)、H15.9(整備後)

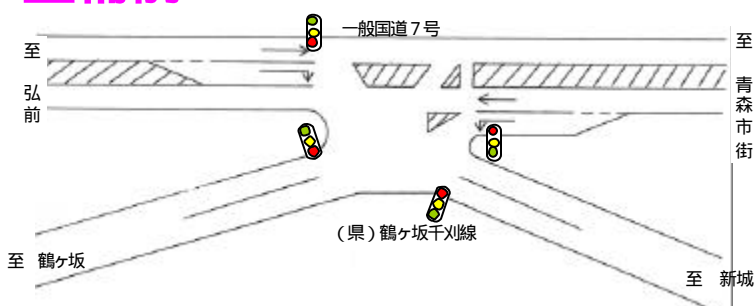
一般国道 7号 青森市戸門 とかとど

対策時期 : H15.11
事務所名 : 青森河川国道事務所

朝夕のラッシュ時に渋滞が発生

X字交差点による複雑な交差処理のため、渋滞や交通事故が発生。

整備前



整備後



・ X字からT字に交差点の改良を実施。

渋滞が大幅に緩和

	(整備前)	(整備後)
(休日) ・ 渋滞長	: 1,400m	200m
・ 通過時間	: 5分	1分
(平日) ・ 渋滞長	: 1,000m	300m
・ 通過時間	: 4分	1分

一般国道45号 青森県階上町蒼前

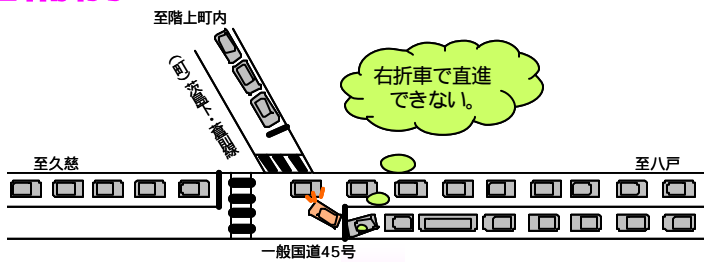
対策時期 : H15.4

事務所名 : 青森河川国道事務所

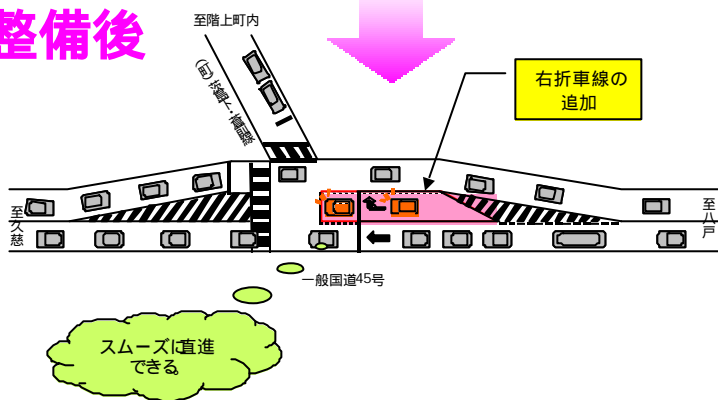
朝夕のラッシュ時に渋滞が発生

右折車線がないため、右折車両による渋滞が発生。

整備前



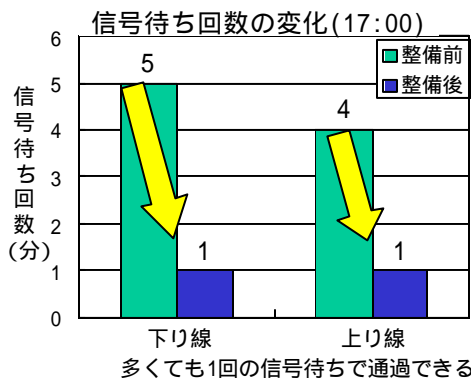
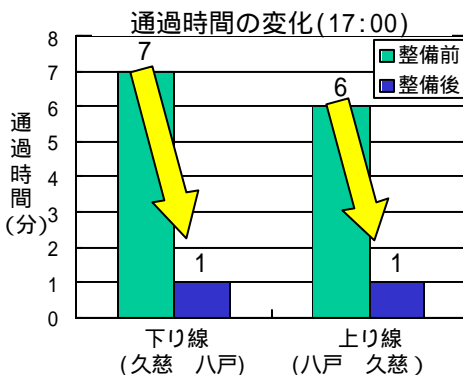
整備後



- ・ 右折車線を設置。

渋滞が大幅に緩和

- ・ 交差点の通過時間、信号待ち回数が上下線とも減少。



渋滞長調査 : H13.10 (対策前)
H15.10 (対策後)

一般国道4号 盛岡市加賀野

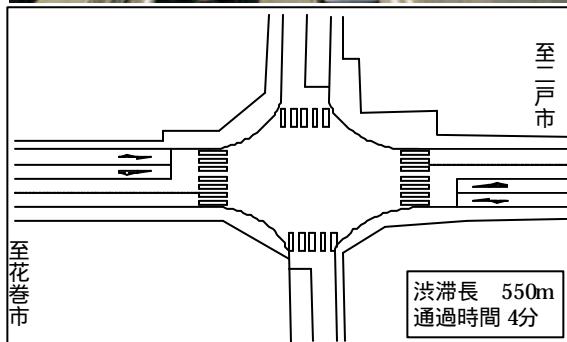
対策時期 : H16.3

事務所名 : 岩手河川国道事務所

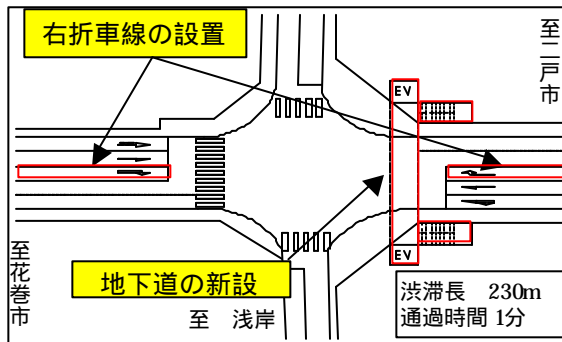
朝夕のラッシュ時に渋滞が発生

交差する市道を横断する自転車・歩行者が多く、スムーズな右左折ができずに渋滞が発生。

整備前



整備後



・右折レーンと地下横断歩道の整備を実施。

渋滞が緩和され、歩行者の安全を確保

	(整備前)	(整備後)
・渋滞長 :	500m	230m
・通過時間 :	3分	1分
	(上り方向 : 二戸 花巻)	

渋滞長調査 : H9.5 (整備前) , H16.6 (整備後)



地下横断歩道通路内部

一般国道 13号 ^{はちまん} 横手市八幡

対策時期 : H13.3

事務所名 : 湯沢河川国道事務所

朝夕の渋滞にうんざり

八幡交差点では、朝夕に交通渋滞が発生。

整備前



整備後

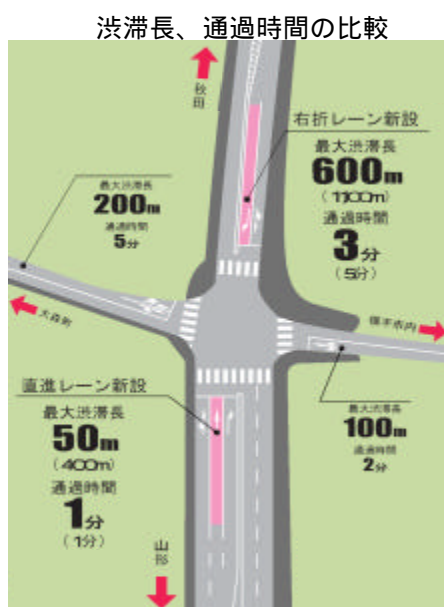


- ・上り方向 (秋田 山形) に、右折車線を設置。
- ・下り方向 (山形 秋田) に、直進車線を設置。

車線の新設で朝夕の渋滞が緩和

- ・上り、下り方向ともに渋滞が緩和。

	(整備前)	(整備後)
上り方向 (秋田 山形)	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞長 : 1,100m ・通過時間 : 5分 	<ul style="list-style-type: none"> 600m 3分
下り方向 (山形 秋田)	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞長 : 400m ・通過時間 : 1分 	<ul style="list-style-type: none"> 50m 1分



渋滞長調査 : H13.4(平日)7:30 ~ 9:30
また、()内はH12.4データ

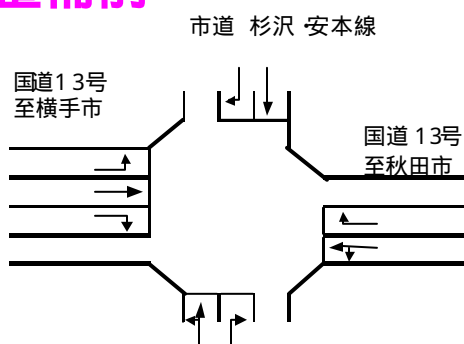
一般国道 13号 横手市御所野

対策時期 : H14.3
事務所名 : 湯沢河川国道事務所

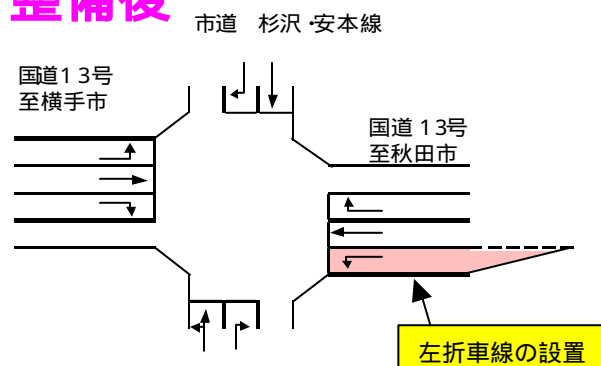
左折車両がさばききれずに渋滞が発生

左折車線がないため、左折車両による渋滞が発生。

整備前



整備後



- ・ 上り方向 (秋田 山形) に左折車線を設置。

渋滞が大幅に緩和

- ・ 上り方向 (秋田 山形) の渋滞が緩和。

	(整備前)	(整備後)
・ 渋滞長 :	900m	500m
・ 通過時間 :	5分	3分

渋滞長調査 : H13.6(対策前)、H14.7(対策後)

だいほうじ
一般国道 112号 鶴岡市大宝寺

対策時期 : H12.12
事務所名 : 酒田河川国道事務所

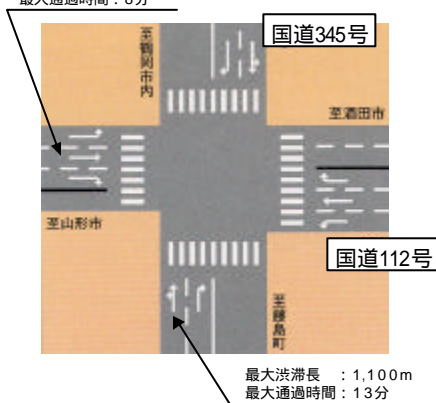
朝夕の渋滞にはうんざり

大宝寺交差点は、市街地への交通量が多く朝夕には渋滞が発生。

整備前



最大渋滞長 : 890m
最大通過時間 : 8分

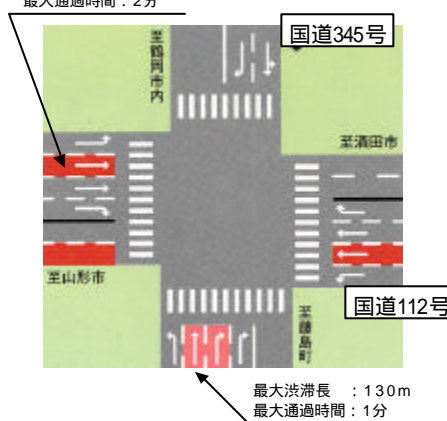


最大渋滞長 : 1,100m
最大通過時間 : 13分

整備後



最大渋滞長 : 200m
最大通過時間 : 2分



最大渋滞長 : 130m
最大通過時間 : 1分

- ・一般国道112号の上り・下り線に直進車線を、一般国道345号の下り線の右折車線を2車線化し、直進車線を設置（山形県事業）。

渋滞が大幅に緩和

【国道112号下り（山形 酒田）】

【国道345号下り（藤島 鶴岡）】

	(整備前)	(整備後)
・渋滞長	: 890m	200m
・通過時間	: 8分	2分

	(整備前)	(整備後)
・渋滞長	: 1,100m	130m
・通過時間	: 13分	1分

一般国道13号 山形市和合町

対策時期：H15.10
事務所名：山形河川国道事務所

整備前は朝の通勤時間帯に3kmに及ぶ渋滞が発生

- ・国道13号山形市和合交差点は、山形市の中心市街地の東部に位置し、通勤交通が集中する交差点で朝のピーク時は、最大3kmに及ぶ渋滞が発生していた。

< 整備前 >

< 整備後 >



< 交差点の改良 >

- ・左折レーンの設置と右折レーンの延伸を行い、交通を円滑化。

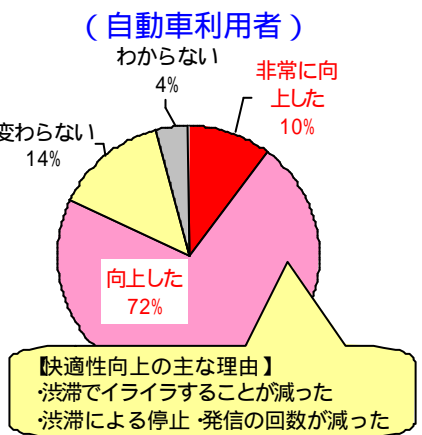
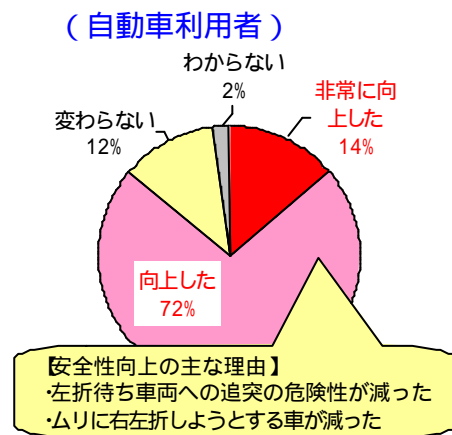
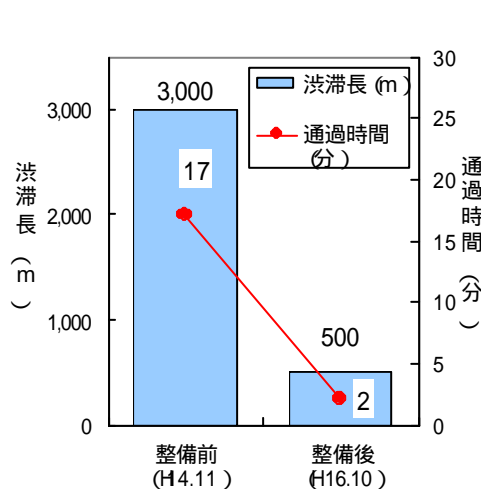
渋滞が大幅に緩和

- ・交差点の改良で、北方向から南方向へ向い発生していた3,000mの渋滞が500mに緩和し、交差点の通過時間も17分から2分へと大幅に減少した。なお、南方向から北方向へ向い発生していた400mの渋滞が370m(H16.12)と大幅な変化は見られない。
- ・アンケート調査の結果、自動車利用者の約9割の方が「交差点通行時の安全性が向上した」と評価しており、その理由として「左折待ち車両への追突の危険性が減った」などの回答が得られている。
- ・また、約8割の方が「交差点通行時の快適性が向上した」と評価しており、その理由として「渋滞でイライラすることが減った」などの回答が得られている。

< 和合交差点の渋滞の変化 >

< 和合交差点の安全性の向上 >

< 和合交差点の快適性の向上 >



< 利用者の声 >

以前 (工事前) は交差点に入る前大変混雑していたが、進路が左折直進、右折と分かれてからは冬期でもスムーズに通行ができるようになり、歩行者も安全に渡れるため、ありがたいことです。
 (70代以上 男性)

資料：国土交通省山形河川国道事務所

資料：H16道路利用者CSアンケート (国土交通省山形河川国道事務所)

いなわしろまち みつわ
一般国道 49号 福島県猪苗代町三ツ和

対策時期 : H15.4
事務所名 : 郡山国道事務所

観光シーズンを中心に渋滞が発生

駐車場への出入り車両や歩行者の乱横断により、交通渋滞が発生。

整備前

乱横断する歩行者



整備後

地下横断歩道の整備状況



駐車場等への出入り車両による渋滞



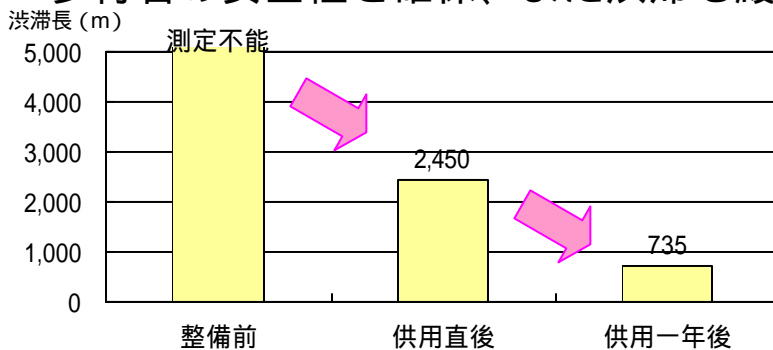
地下横断歩道の通路内



・地下横断歩道の設置、車道の拡幅を実施。

歩行者の安全性確保、渋滞が大幅に緩和

・歩行者の安全性を確保、また渋滞も緩和。



国道49号の渋滞長の推移
(上り方向 : 会津若松 郡山)

渋滞長調査 整備前 : H11.5
供用直後 : H15.5
供用一年後 : H16.5

えまた
一般国道 112号 山形市江俣

対策時期 : H14.3

事務所名 : 山形河川国道事務所

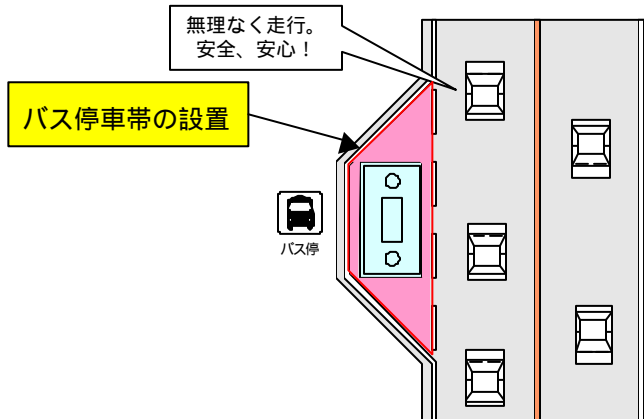
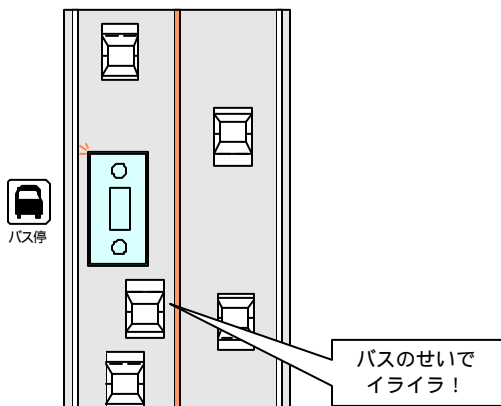
バスの停車で渋滞が発生

江俣交差点付近では、バスの停車による交通渋滞が発生。

整備前



整備後



- ・バス停車帯を設置。

渋滞が緩和、無理な追い越しが減少

- ・バス停車による渋滞や無理な追い越しが減少。

	(整備前)	(整備後)
・渋滞長	: 800m	100m
・通過時間	: 8分	0分

一般国道 13号 福島市平和通り へいわどおり

対策時期 : H13.4

事務所名 : 福島河川国道事務所

路上駐車が多くて大変

福島市の中心市街地では、路上駐車が多く、それらに起因する交通渋滞が発生。

整備前



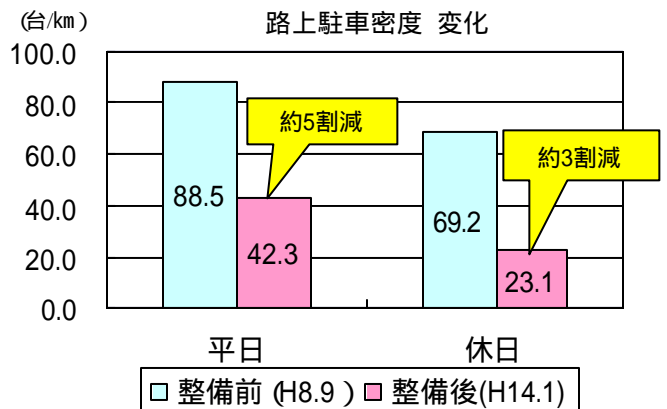
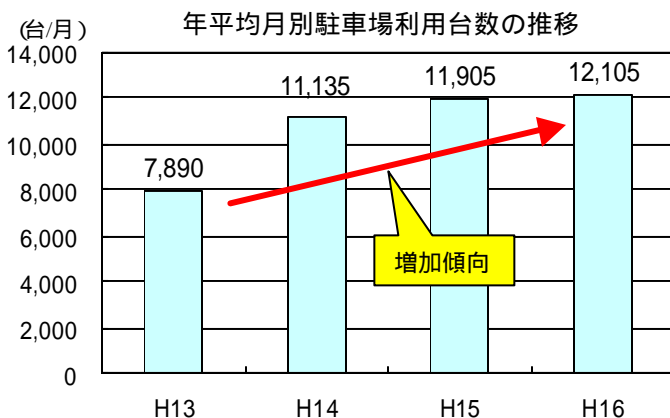
整備後



- ・ 国道13号平和通りに地下駐車場を設置。

路上駐車が減少、すっきりとした街並みに

- ・ 商店街等と一体となった料金割引等を実施し、年々利用者が増加。また、周辺の路上駐車も減少。



秋田県角館町

対策時期 : H16.4~5

事務所名 : 秋田河川国道事務所

桜まつり期間の渋滞問題に対する取り組み / コストをかけずにソフト対策で

秋田県角館町では、毎年桜まつり期間中に渋滞問題が発生。抜本的対策として角館バイパス整備の進捗を図っているが、年々増加する観光客（約133万人）や増大する観光交通の渋滞緩和を図るため、「角館桜まつり」主催者と道路管理者や警察などの関係機関が連携し渋滞緩和に向け、コストをかけずにソフト的な短期対策に取り組み。取り組みにあたっては、予め渋滞削減目標（2割削減）を定め、その達成度を評価し、次の取り組みに反映するマネジメントサイクルの考え方を導入。具体的な取り組み内容（ソフト対策）は、**駐車場容量の拡大（角館バイパス用地を活用した臨時駐車場等）、交通規制・車両誘導（方面別駐車場配置・大型車と乗用車の分離専用化等）、渋滞・駐車場情報の提供（インターネット・携帯サイト等を利用）を実施。**



H15桜まつり 駐車待ちの車で渋滞している国道46号



出張所のイニシアチブにより関係機関が連携し対策の検討を実施



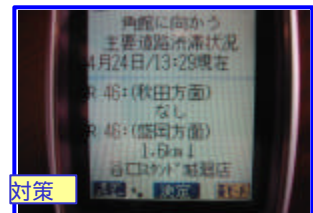
対策

角館バイパス用地を
活用した臨時駐車場



対策

町内駐車場の満車状況を
発信し、車両進入を抑制



対策

携帯電話サイトによりリアル
タイムの渋滞情報を提供

これらの取り組みをマスコミに広報し、新聞やテレビで県民に広くPR（記者発表4回、テレビ放映3回）するとともに、取り組みチラシを道の駅、SA、PAなどで広域的に配布。

渋滞の大幅緩和で苦情も激減 / 今回の成果を評価し次回へ反映

渋滞対策の効果で、**渋滞損失時間が22分(H15)から1分(H16)へと半減**。期間中、角館町に寄せられた**苦情が147件(H15)から5件(H16)に激減**。来訪者へのアンケートでは「道路が渋滞していた」との指摘は約1割、「迷わずに駐車場に到着した」が**約8割と概ね良い評価**。しかし、一部課題も確認され「角館観光期渋滞対策検討会」でさらに検討、次回に反映。